



OSCG
開源智造

データインポート

Odoo ユーザガイド

WE ARE NOT JUST ANOTHER
CONSULTING GROUP



はじめに

- Odooではリスト表示画面からCSV形式のファイルをインポートすることで、レコードの追加・変更ができます
- マスタや残高データの初期設定、既存レコードの更新、トランザクションレコードの一括取込等が行えます
- データのインポートでは、Odooのオブジェクトリレーションを理解していないと正しいフォーマットでのデータ準備が難しいケースがあります



Odoo前提設定

設定 > 設定 > 一般設定 にて

メッセージング 会計 購買 倉庫 レポート 設定

Apply or Cancel

Open ERP

モジュール
アプリ
アップデート
インストール済モジュール
モジュールリスト更新
スケジュールされた更新を...

設定
発注
倉庫
会計
一般設定
会社
会社
ユーザ
グループ
ユーザ

一般設定

会社の詳細にはヘッダとフッタのアドレス、遅延支払いのテキストなどより多くのオプションがあります。
🔗 [会社のデータを設定](#)

オプション

- 複数の会社を管理

Eメール

- 送信メールサーバを設定
エイリアスドメイン
- 受信メールゲートウェイを設定

ポータルアクセス

- 顧客ポータルを活性化
- 公共ポータルを活性化 (会社のニュース、求人、連絡先フォームなど)
- ログインページでのパスワードリセットを有効化
- 外部ユーザの登録を許可

認証

- 外部認証プロバイダを使用、GoogleやFacebookでサインイン、...

インポート/エクスポート

- CSVファイルからデータをインポート

「CSVファイルからデータをインポート」
にフラグが立っていることを確認

顧客

作成 または **インポート**

<input type="checkbox"/>	Name
<input type="checkbox"/>	Agrolait
<input type="checkbox"/>	Agrolait, Michel Fletcher

リストビュー画面で「インポート」
のリンクが表示される

データインポート作業手順例 (新規レコード作成の場合)

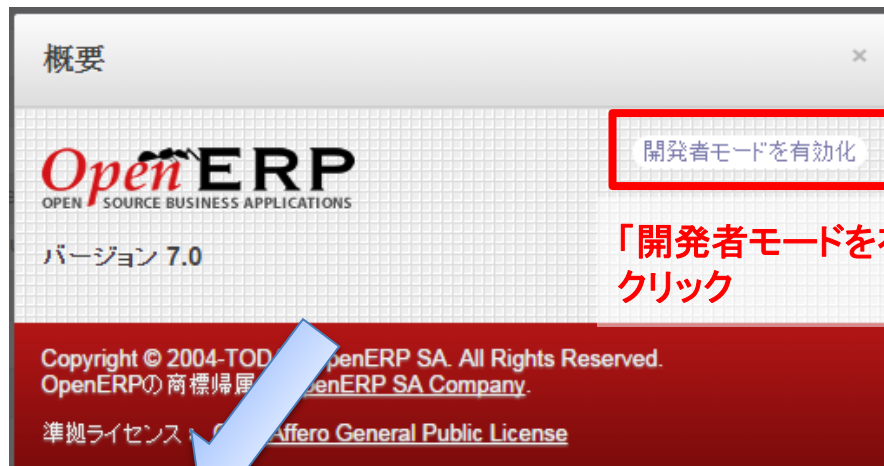


1. インポートしたいデータの項目定義を確認
 1. 開発者モード有効化
2. CSVファイル準備
 1. リストビュー画面より、データを一旦エクスポート
 2. エクスポートしたファイルをベースにフォーマット調整、データ準備
3. CSVファイル取込



開発者モード有効化

画面右上のドロップダウンより、「OpenERPについて」をクリック

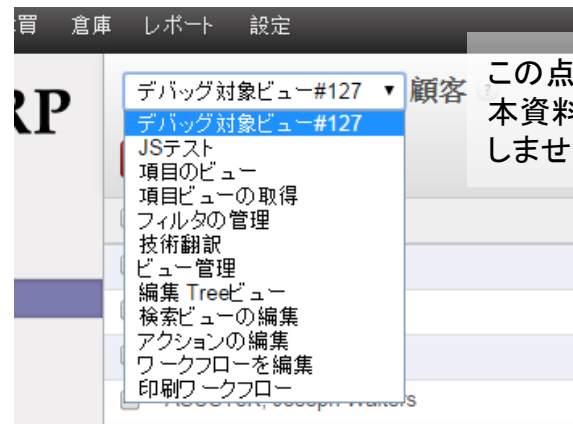


「開発者モードを有効化」をクリック

マウスオーバーで項目技術情報が表示される
この方法で項目技術名称が確認できます。



この他、オペレーション画面に開発者用の
ドロップダウンメニューが表示される



この点については
本資料の中では説明
しません(参考のみ)

リストビュー画面よりデータエクスポート



当資料では基本操作説明は割愛します。

必要に応じて「データエクスポート」の資料をご参照ください

ポイント:

- データエクスポートに先立ち、対象オブジェクトのレコードが1件だけでも登録されている必要があります。レコードが全く存在しない場合は、テスト用DBにてマニュアルでレコードを1件登録した上で、エクスポートしてください
- 「Import-Compatible Export」のタイプでエクスポートしてください
- 登録したい項目および必須の項目(次頁参照)を全て選択した上でエクスポートするようにしてください



必須の項目とは

登録／編集画面で青くなっている項目は入力必須です

名称 (会社?)

Axelor

取引先 / ゴールド × サービス業 × タグ...

住所: 12 rue Albert Einstein

電話: _____

携帯電話: _____

このウィザードは、現在の検索条件に合致した全てのデータをCSVファイルとしてエクスポートし、再インポートした項目のみをエクスポートできます。

エクスポートのタイプ: **Import-Compatible Export** エクスポートの形式: **CSV** On

利用可能な項目

名前
EAN13
Eメール
Eメール通知
FAX
Medium-sized image

追加
削除
全てを削除

エクスポート画面でも青く表示されます

「必須」であるけれども、プログラムロジックにより初期値が自動提案される項目もあります（取引先マスタの売掛金勘定・買掛金勘定等）。それら項目については、提案初期値から変更の必要がない場合はインポートファイルから削除しても構いません（提案値が何なのかは別途確認しておく必要があります）



インポート用ファイル準備・取込

例えば、取引先データを新規作成する場合

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	name	property_account_receivable/id	property_account_payable/id	customer	supplier	type	country_id/id	city
2	株式会社ROOMS FOR	_export__account_account_40	_export__account_account_45	TRUE	FALSE	Contact	base.jp	渋谷区
3	みかん商事	_export__account_account_40	_export__account_account_45	TRUE	FALSE	Contact	base.jp	北九州市
4	OS Consulting Group Limited	_export__account_account_40	_export__account_account_45	FALSE	TRUE	Contact	base.hk	Kowloon
5	山八運送	_export__account_account_40	_export__account_account_45	TRUE	FALSE	Contact	base.jp	横浜市
6	CAPOC株式会社	_export__account_account_40	_export__account_account_45	TRUE	FALSE	Contact	base.jp	新宿区
7	うまたま食堂	_export__account_account_40	_export__account_account_45	FALSE	TRUE	Contact	base.jp	大阪市
8	カナキ電子	_export__account_account_40	_export__account_account_45	TRUE	FALSE	Contact	base.jp	箕面市

① こういうファイル(CSV形式)を準備します

Import a CSV File

Validate インポート または キャンセル

Select the .CSV file to import. If you need a sample importable file, you can use the export tool to generate one.

CSVファイル: Choose File res.partner.csv

② ファイルをアップロードし...

エンコード: shift_jis

③ エンコードを必要に応じて調整し...

区切り文字: Comma

Quoting: "

④ 「Validate」をクリック

「Validate」によりファイルフォーマットおよび項目値のチェックがかけられます。
エラーが出ましたら、適宜取込ファイルを修正の上、一連の操作をやり直してください。

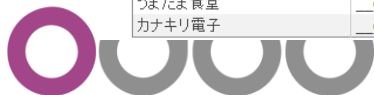
Map your data to OpenERP

The first row of the file contains the label of the column

Everything seems valid. ⑤ 「Everything seems valid」というメッセージが表示されるとOK。

「インポート」をクリック

name	property_account_receivable/id	property_account_payable/id	customer	supplier	type	country_id/id	city
Name	Account Receivable	Account Payable	Customer	Supplier	Address Type		
株式会社ROOMS FOR	_export__account_account_40	_export__account_account_45	TRUE	FALSE	Contact	base.jp	渋谷区
みかん商事	_export__account_account_40	_export__account_account_45	TRUE	FALSE	Contact	base.jp	北九州市
OS Consulting Group Limited	_export__account_account_40	_export__account_account_45	FALSE	TRUE	Contact	base.hk	Kowloon
山八運送	_export__account_account_40	_export__account_account_45	TRUE	FALSE	Contact	base.jp	横浜市
CAPOC株式会社	_export__account_account_40	_export__account_account_45	TRUE	FALSE	Contact	base.jp	新宿区
うまたま食堂	_export__account_account_40	_export__account_account_45	FALSE	TRUE	Contact	base.jp	大阪市
カナキ電子	_export__account_account_40	_export__account_account_45	TRUE	FALSE	Contact	base.jp	箕面市





「外部ID」について

- Odooの全てのレコードには、一意の「外部ID」を割り当てることができます
- 外部IDはインポート用CSVフォーマットにて、レコードを特定するものとして利用できます
- 外部IDは新規レコードインポート時に任意のものを付与することができます。新規レコード作成時に外部IDを付与しなかった場合は、レコードエクスポートを行うとシステムが自動で外部IDを生成します



「外部ID」について（続き）

こういう取込ファイル(取引先レコード新規作成)の場合

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	id	name	country_id/id	city	customer	supplier	property_account_receivable/id	property_account_payable/id
2	base.roomsfor	株式会社ROOMS FOR	base.jp	渋谷区	TRUE	FALSE	__export__.account_account_40	__export__.account_account_45
3	base.mikan	みかん 商事	base.jp	北九州市	TRUE	FALSE	__export__.account_account_40	__export__.account_account_45
4	base.oscg	OS Consulting Group Limited	base.hk	Kowloon	FALSE	TRUE	__export__.account_account_40	__export__.account_account_45
5	base.yamahachi	山八運送	base.jp	横浜市	TRUE	FALSE	__export__.account_account_40	__export__.account_account_45
6	base.capoc	CAPOC株式会社	base.jp	新宿区	TRUE	FALSE	__export__.account_account_40	__export__.account_account_45
7	base.umatama	うまたま食堂	base.jp	大阪市	FALSE	TRUE	__export__.account_account_40	__export__.account_account_45
8	base.kanakiri	カナキリ電子	base.jp	箕面市	TRUE	FALSE	__export__.account_account_40	__export__.account_account_45

「id」が外部IDです。
これが各取引先レコードを一意に
識別するキーとなります

マスタ系のデータについては、外部IDを
指定してレコード作成しておく、他のマ
スタやトランザクションで当該レコードを
参照してレコード作成／更新する際にこ
のIDが使えます(例えば右記の
「country_id」のような使い方)

外部IDは (モジュール名).(項目名) の
フォーマットで付与します

「country_id/id」は国レコードの外部ID
指定を意味しています

これらレコードはOdoonインストール時の初期
設定に含まれています

因みに、「/id」を除いて「country_id」とすると
名称でのレコード取込が可能です

country_id	c
日本	j
日本	h
香港	k
日本	l
日本	m
日本	n
日本	o

Many2One、Many2Many、 One2Many



- Odooのオブジェクト間のリレーションには、「Many2One」、「Many2Many」、「One2Many」の3種類があります
 - Many2One
 - 取引先における「国」等、複数の参照元オブジェクト(取引先)が一つの参照先オブジェクト(国)を参照するリレーションをいいます
 - Many2Many
 - 取引先における「タグ」等、複数の参照元オブジェクト(取引先)が複数の参照先オブジェクト(タグ)を参照できるリレーションをいいます
 - One2Many
 - 受注における「明細行」等、一つの参照元オブジェクト(受注)が複数の参照先オブジェクト(明細行)を参照するリレーションをいいます



Many2One項目を含むインポート

- 最もシンプルなりレーションです
- 先の取引先レコード新規作成の例(「国」項目)をご参照ください



Many2Many項目を含むインポート

- 複数対複数のリレーションの場合、CSVファイル項目内で、スペースを入れずに値をカンマ(,)で区切ります

例えば既存の取引先レコードのタグ(category_id)項目を更新する場合、次のようなレコードを準備

	A	B	C
1	id	name	category_id/id
2	base.roomsfor	株式会社ROOMS FOR	base.res_partner_category_9,base.res_partner_category_7
3	base.mikan	みかん商事	base.res_partner_category_8,base.res_partner_category_4
4	base.oscg	OS Consulting Group Limited	base.res_partner_category_6,base.res_partner_category_7
5	base.yamahachi	山八運送	base.res_partner_category_4,base.res_partner_category_11
6	base.capoc	CAPOC株式会社	base.res_partner_category_9,base.res_partner_category_7
7	base.umatama	うまたま食堂	base.res_partner_category_4,base.res_partner_category_1
8	base.kanakiri	カナキリ電子	base.res_partner_category_8,base.res_partner_category_

インポート時に「name」項目は不要(新規レコード作成時に既に更新済み)ですが、データ準備の際にあった方がわかりやすいので入れています

取込結果

みかん商事

コンサルティングサービス 取引先 / ゴールド



One2Many項目を含むインポート

- 1対複数のリレーションの場合、CSVファイル内で、参照元オブジェクト1行に対し、参照先オブジェクトを複数行設けます

例えば複数明細の受注レコードを新規登録する場合、次のようなレコード(簡素化した例です)を準備

	A	B	C	D	E
1	partner_id	date_order	order_line/product_id	order_line/product_uom_qty	order_line/price_unit
2	みかん商事	2014-09-01	Laptop E5023	5	2950
3			GrapWorks Software	1	173
4			Datacard	1	40
5			USB Adapter	1	18
6	山八運送	2014-09-01	External Hard disk	1	405
7			Blank DVD-RW	3	24
8			Printer, All-in-one	1	4410
9	カナキリ電子	2014-09-01	Laptop E5023	3	2950
10			Pen drive, SP-4	5	145
11			Headset USB	2	65

- 明細1行目は、受注ヘッダ(ここではカラムA、B)と揃えて明細行の情報(ここではカラムC、D、E)を埋める
- 明細2行目以降は、受注ヘッダは空白で、明細行の情報のみ埋める